



白倉正子
アントイレプランナー 代表



エラ～い人たちの トイレ掃除体験会

「トイレ掃除の体験会があるんですけど、よかったですら参加しませんか？」

そうご連絡をいただき、喜び勇んで参加した私。その体験会とは、昨年10月のコラムで紹介した『世界一キレイなトイレを目指して』の著者・黒田孝次さんのある決意を実行するための催しでした(今年8月9日)。

黒田さんは、中日本ハイウェイ・メンテナンス中央(株)の元社長さんで、10年前(2007年)の着任時に、中央道(=東京都や山梨県を走る高速道路)のトイレの汚さに絶句し、清掃員の意識改革や技術向上を目指した方です。その結果、高速道路のトイレが全国的にきれいになり、他業種にまで影響を与えていることは、知る人ぞ知る大偉業ですが、その黒田さんは著書の最後になんと「私が65歳になったら、トイレ掃除をするエリアスタッフになるぞ」と宣言なさっていました。

しかし黒田さんは、いまでも別会社の社長として世界中を走り回っており、まだ転職できそうにありません。そこでその代わりに、みんなでトイレ掃除を体験する会を企画なさいました(主催：NPO法人道路の安全性向上協議会。実行委員長は吉川良一氏)。

当日は、主旨に賛同したNPO法人の会員、NEXCO 中日本の社員・関連会社の社長やOBなど、エラ～い人たち30名が参集。現場スタッフに「教えてください」とお願いし、便器や床を清掃。夏休みで大勢のお客様がいるなか、汗を流しながら真剣に作業されていました。

ただしトイレは建築から14年も経っていると思えない美しさで、汚れは皆無。だから正直なところ、私には物足りなかったです。だって本当の苦労は、お客様に無礼がないように神経を使いながら汚物やしつこい汚れと格闘することですものね？ でも体験をしたかorしないか？は雲泥の差ですから、参加者に拍手を送りたいと思いました。

最後の感想発表会では「立ったり座ったりして、腰が疲れた。清掃の方はあんな苦労をしてくださっていたのか……」とか「トイレの中にクーラーはないのか？ ないなら付けるべきだ!」と、いろんな意見が出ました。おお、キタキターー!!(笑) こういう「経営者」と「現場」の真剣な視点が集まることで、よりよい環境整備が進むのでしょうか。私は胸が高まりを抑えることができませんでした。